

令和6年度（2024年度）総務常任委員会管内視察の概要

- 1 視察日 令和6年（2024年）9月9日（月）
- 2 視察者 総務常任委員会（7名）
末松直洋（委員長）、西村尚武（副委員長）、岩下栄一、
松田三郎、松村秀逸、幸村香代子、住永栄一郎

3 視察の概要

(1) 九州ルーテル学院インターナショナルスクール小学部

九州ルーテル学院インターナショナルスクール小学部は、本年4月に開校し、1年生から6年生までの児童が在籍している。

今回の視察では、小学部の施設・設備の状況を見学し、教員や教育内容について説明を受けた。

同校からは、4月に生徒30名でスタートしたが、その後転入学等で、現在は37名で、順調に推移している。3年生の授業を例にとると、8割が英語で行われている、建物は、同窓会館をリノベーションして対応しており、教室の中の机の配置は、先生とのディスカッションに対応した円形の机の配置としている、体育館や音楽教室など特別教室は大学と共用しているとの説明があった。



(2) 熊本インターナショナルスクール

熊本インターナショナルスクールは、2018年4月に開校し、初等部（1年生～6年生）、中等部（7年生～10年生）の児童生徒が在籍している。

今回の視察では、施設・設備の状況を見学し、教員や教育内容について説明を受けた。

同校からは、児童生徒は現在、195名在籍しており、国際バカロレア初等教育プログラムによる学習を進めている。来年4月に高等部を開設する予定であり、現在、準備を進めている、体育館が9月に完成し、より充実した環境が整うとの説明があった。



(3) 阿蘇くまもと空港

阿蘇くまもと空港は、令和5年3月に新旅客ターミナルビルを供用開始し、国際線路線が拡大し、旅客数は増加傾向にある。

今回の視察では、新ターミナルビル供用後の空港の運営状況、既存路線の増便、旅客数増加への取組及び新規路線の開拓について説明を受け、熊本空港新ビル施設新築工事（第2期工事）の状況を見学した。

同社からは、第2期工事の進捗率は90.5%であり、「そらよかエリア」は今秋から順次開業する。駐車場対策としてP4駐車場（約200台収容）の整備を進めている、乗降客は、新旅客ターミナルビル供用後、増加しており、国際旅客数は過去最高を記録したとの説明があった。



(4) 熊本県消防学校

熊本県消防学校は、消防人材を育成する県内唯一の機関であり、熊本地震等の大規模災害発生時には県内外からの応援部隊の活動拠点に位置付けられている。

今回の視察では、本年3月に竣工した主訓練塔、補助訓練塔をはじめ、AFT（先端消防訓練システム）、HT（ホットトレーニング）などの訓練施設及び初任科消防職員の訓練の様子を見学した。

同校からは、昭和56年4月の現在地移転以来43年が経過し、訓練塔などの訓練施設を順次更新している、5年度から高校生、大学生及び専門学校生を対象としたオープンスクールの実施、初任科女性消防職員に対する支援の充実など、新たな取組も進めているとの説明があった。

